

平成20年度地方公営企業の決算の概況<1>

概要

《事業数》 151事業(対前年度0.7%・1事業)で、ほぼ前年度並みで推移

《決算規模》 1,557億48百万円(対前年度▲3.1%・▲49億28百万円)

公的資金補償金免除繰上償還分の増加分除きで比較すると、対前年度▲2.1%・▲32億27百万円
主な減少要因は、宅地造成事業での地方債償還額の減

《資金不足額》(17会計/149会計中) 206億77百万円(対前年度 ▲16.4%・▲40億44百万円)

下水道事業 (2会計/46会計中) 113億26百万円(対前年度 ▲4.3%・▲5億5百万円)

宅地造成事業(4会計/5会計中) 61億25百万円(対前年度 ▲29.0%・▲25億5百万円)

病院事業 (4会計/12会計中) 14億32百万円(対前年度 ▲41.9%・▲10億32百万円)

上記事業で、全体の91.3%を占める。

《企業債(現在高)》 3,738億42百万円(対前年度 ▲0.4%・▲15億18百万円)

下水道事業 1,852億21百万円(対前年度 2.1%・37億63百万円)

水道(含簡水)事業 1,029億40百万円(対前年度 ▲0.7%・▲6億85百万円)

病院事業 499億27百万円(対前年度 ▲5.8%・▲30億63百万円)

上記事業で、全体の90.4%を占める。

《他会計繰入金》 222億37百万円(対前年度 8.7%・17億86百万円)

事業別にみると下水道事業49.4%、病院事業34.7%で全体の84.1%を占める。

平成20年度地方公営企業の決算の概況<2>

主な事業の状況(資金不足比率・資金不足額)

《病院事業》

- ・ 有田市 26.0%・ 6億1百万円(対前年度 8.4ポイント減、▲1億53百万円)
医業収益の増により、資金不足額と比率が減
- ・ 橋本市 15.4%・ 8億5百万円(対前年度 2.3ポイント減、▲68百万円)
医業収益の増により、資金不足額と比率が減

《下水道事業》

- ・ 白浜町 405.2%・ 3億93百万円(対前年度 56.9ポイント増、22百万円)
接続率の低迷等により、料金収入が不足し、資金不足額と比率が増
- ・ 和歌山市 190.4%・ 109億33百万円(対前年度 78.4ポイント減、▲5億27百万円)
料金改定等による収入の増により、資金不足額と比率が減

《上水道事業》

- ・ 那智勝浦町 29.6%・ 94百万円(対前年度 0.3ポイント増、▲7百万円)
料金収入の減により、資金不足比率が増

※決算上の資金不足比率

各公営企業会計単位の実質収支の赤字額(資金不足額)の事業規模(営業収益等)に対する割合。

地方財政法における地方債協議制度においても活用されている指標であり、10%を超えると地方債要許可公営企業に移行する。P. 13

平成20年度地方公営企業の決算の概況<2-1>

主な事業の状況(資金不足比率・資金不足額)

《宅地造成事業》

- ・ 田辺市(文里港整備) 84,635.6%・ 1億33百万円(対前年度 ⑱は∞、▲11百万円)
繰入金の増により、資金不足額が減 ※⑱は営業収益0のため資金不足比率が∞(無限大)
- ・ 上富田町 960.2%・ 4億80百万円(対前年度 2,077.1ポイント減、▲37百万円)
土地の売却収入の増により、資金不足額と比率が減
- ・ 田辺市 210.6%・ 1億60百万円(対前年度 112.1ポイント減、▲72百万円)
土地の売却収入の増及び建設工事の減により、資金不足額と比率が減
- ・ 和歌山市 150.5%・ 53億52百万円(対前年度 2,123.6ポイント減、
▲23億85百万円)
土地売却収入の大幅増により、資金不足額と比率が大幅減

《駐車場事業》

- ・ 和歌山市 301.1%・ 9億41百万円(対前年度 72.1ポイント増、2億23百万円)
料金収入の減と起債の償還額が多額のため、資金不足額と比率が増

平成20年度地方公営企業の決算の概況<3>

決算規模

地方債償還額の影響により、▲3.1%の減

- 1,557億48百万円 対前年度▲3.1%・▲49億28百万円
- 全国ベース 20兆3,148億円 対前年度▲0.6%・▲1,188億円
- 増減要因のうち、公的資金補償金免除繰上償還(67億71百万円)分を除いて比較すると、対前年度▲2.1%、▲32億27百万円(全国ベースでは、▲0.5%、▲960億円)。
- しかし、この減少も、昨年度の特異要因であった、宅地造成事業での満期一括償還地方債の借換のための償還を除けば、工業用水道事業と病院事業の建設投資額の増により決算規模はプラス。

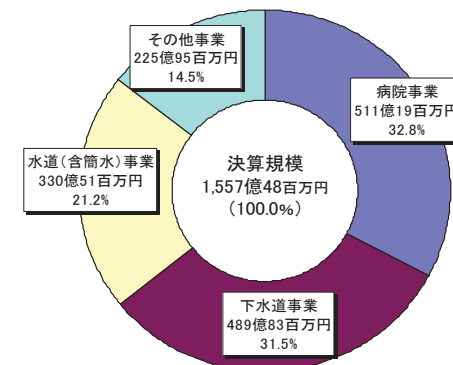
事業別決算規模

(単位:百万円、%)

	平成 20年度 (A)	平成 19年度 (B)	(A)の 構成比 (%)	全国 構成比 (%)	対前年度 増減 (A)-(B)	対前年度 増減率 (%)	対前年度 全国増減率 (%)	20年度のうち		19年度のうち		対前年度 増減 (A)'-(B)'	対前年度 増減率 (%)
								補償金免除 繰上償還額	20年度補償金 免除繰上償還額 (A)'	補償金免除 繰上償還額	19年度補償金 免除繰上償還額 (B)'		
上水道	28,579	32,086	18.3	22.7	▲3,506	▲10.9	▲2.8	1,267	27,312	2,924	29,162	▲1,850	▲6.3
簡易水道	4,472	4,961	2.9		▲489	▲9.9		264	4,207	137	4,824	▲616	▲12.8
工業用水道	4,101	2,887	2.6	1.4	1,213	42.0	13.6	45	4,056	46	2,842	1,215	42.7
病院	51,119	49,957	32.8	22.8	1,162	2.3	▲2.3		51,119	1,125	48,832	2,287	4.7
下水道	48,983	48,403	31.5	33.5	580	1.2	▲2.4	5,195	43,788	4,241	44,162	▲374	▲0.8
宅地造成	10,865	14,888	7.0		▲4,023	▲27.0			10,865		14,888	▲4,023	▲27.0
観光施設	950	1,158	0.6		▲208	▲18.0			950		1,158	▲208	▲18.0
港湾整備	16	22	0.0		▲7	▲29.9			16		22	▲7	▲29.9
市場	705	571	0.5	19.6	134	23.4	7.0		705		571	134	23.4
と畜場	254	211	0.2	※上記以外全て	44	20.8	※上記以外全て		254		211	44	20.8
駐車場整備	1,934	1,730	1.2		205	11.8			1,934		1,730	205	11.8
介護サービス	3,770	3,802	2.4		▲32	▲0.8			3,770		3,802	▲32	▲0.8
合計	155,748	160,676	100.0	100.0	▲4,928	▲3.1	▲0.6	6,771	148,977	8,473	152,204	▲3,227	▲2.1

※決算規模の算出 法適用企業:総費用(税込み)-減価償却費+資本的支出
法非適用企業:総費用+資本的支出+積立金+繰上充用金

地方公営企業の決算規模の状況



平成20年度地方公営企業の決算の概況<4>

企業債(発行額)

大口借換債分の減少により、▲17.8%の大幅減

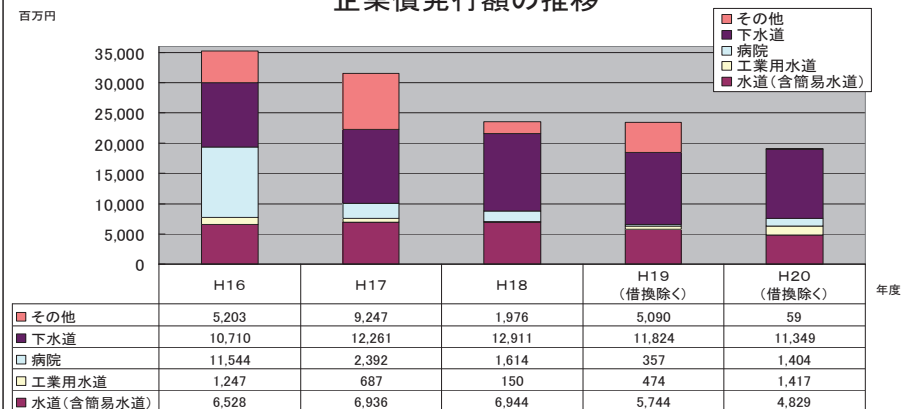
- 248億89百万円 対前年度▲17.8%・▲53億80百万円
- 全国ベース 3兆9,425億円 対前年度▲0.5%・▲199億円
- 増減要因のうち、公的資金補償金免除繰上償還に係る借換債(58億31百万円)を除いて比較すると、対前年度▲18.9%、▲44億31百万円(全国ベースでは、▲0.1%、▲28億円)。
- しかし、この減少も、昨年度発行した一部宅地造成事業での満期一括償還地方債の借換債(50億34百万円)を除けば、工業用水道事業と病院事業の建設投資額の増により、発行額はプラス。

企業債発行額

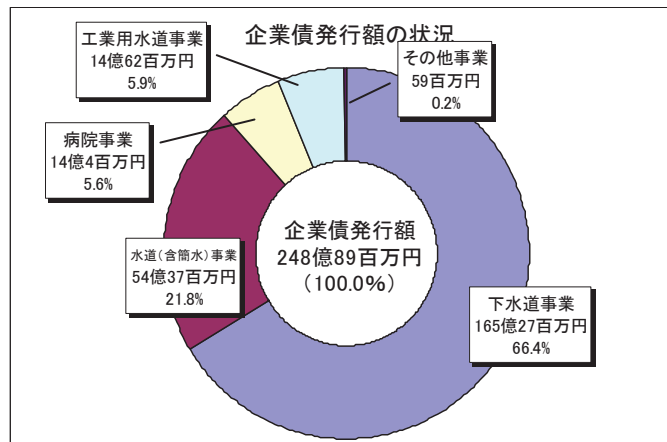
(単位：百万円、%)

	平成 20年度 (A)	平成 19年度 (B)	(A)の 構成比 (%)	対前年度 増減 (A)-(B)	対前年度 増減率 (%)	全国 増減率 (%)	20年度のうち 補償金免除繰上償還 に係る借換債	左の借換債除く 20年度発行額 (A')	19年度のうち 補償金免除繰上償還 に係る借換債	左の借換債除く 19年度発行額 (B')	対前年度 増減 (A')-(B')	対前年度 増減率 (%)
水道(含簡易水道)事業	5,437	7,177	21.8	▲1,740	▲24.2	▲1.2	608	4,829	1,433	5,744	▲915	▲15.9
工業用水道事業	1,462	474	5.9	988	208.2	64.6	45	1,417	474	943	198.8	198.8
病院事業	1,404	1,475	5.6	▲71	▲4.8	3.2		1,404	1,118	357	1,047	293.7
下水道事業	16,527	16,053	66.4	474	3.0	▲3.4	5,178	11,349	4,229	11,824	▲475	▲4.0
その他事業	59	5,090	0.2	▲5,031	▲98.8	6.3		59	5,090	▲5,031	▲98.8	▲98.8
合計	24,889	30,268	100.0	▲5,380	▲17.8	▲0.5	5,831	19,057	6,779	23,489	▲4,431	▲18.9

企業債発行額の推移



企業債発行額の状況



平成20年度地方公営企業の決算の概況<5>

企業債(現在高)

H18年度をピークに▲0.4%のわずかながら、減少傾向

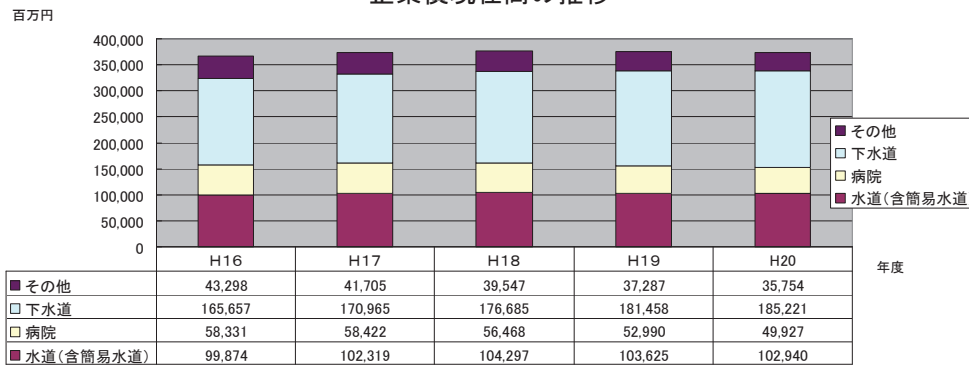
- 3,738億42百万円 対前年度▲0.4%・▲15億18百万円
- 全国ベース 56兆5,529億円 対前年度▲2.4%・▲1兆3,755億円
- 全国ベースでは、減少傾向が顕著であるが、本県の減少幅が少ない要因は、下水道事業に係る建設改良費が、高額を保ったまま推移しているためと考えられます。
- 現在高を事業別にみると下水道事業が最も多く、次いで水道事業、病院事業の順となっています。

企業債現在高

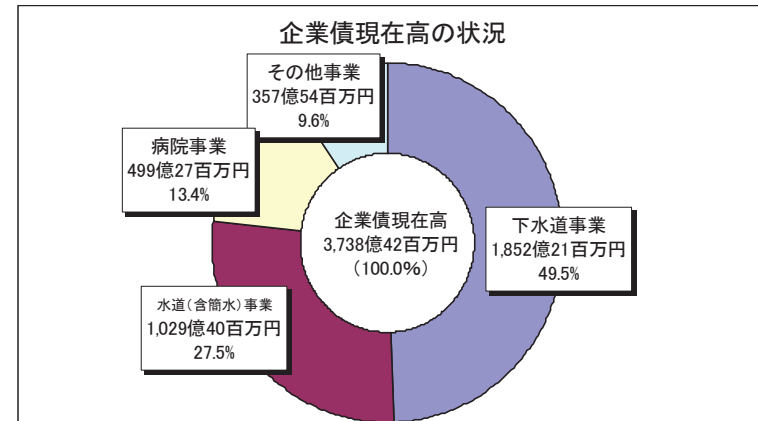
(単位：百万円、%)

	平成 20年度 (A)	平成 19年度 (B)	(A)の 構成比 (%)	対前年度 増減 (A)-(B)	対前年度 増減率 (%)	全国 増減率 (%)
水道(含簡易水道)	102,940	103,625	27.5	▲685	▲0.7	▲4.0
病院	49,927	52,990	13.4	▲3,063	▲5.8	▲0.3
下水道	185,221	181,458	49.5	3,763	2.1	▲1.4
その他	35,754	37,287	9.6	▲1,533	▲4.1	▲4.5
合計	373,842	375,360	100.0	▲1,518	▲0.4	▲2.4

企業債現在高の推移



企業債現在高の状況



平成20年度地方公営企業の決算の概況<6>

他会計繰入金

基準外繰入で、15.8%の大幅増

- 繰入金総額 222億37百万円 対前年度 8.7%・17億86百万円
- 全国ベース 3兆4,249億円 対前年度 2.5%・819億円
- 基準内繰入 147億90百万円 対前年度 5.5%・7億69百万円
- 基準外繰入 74億47百万円 対前年度 15.8%・10億17百万円
- 他会計繰入金を事業別にみると下水道事業が最も多く、次いで病院事業、水道事業の順となっています。

他会計繰入金の状況

(単位:百万円、%)

	平成20年度				平成19年度			対前年度 増減 (A)-(B)	対前年度 増減率 (%)	全国 増減率 (%)
	基準内 繰入	基準外 繰入	繰入金計 (A)	構成比	基準内 繰入	基準外 繰入	繰入金計 (B)			
上水道	662	173	835	3.8%	595	355	950	▲115	▲12.1	▲1.2
簡易水道	485	521	1,006	4.5%	487	572	1,059	▲53	▲5.0	
工業用水道	0	0	0	0.0%	0	0	0	▲0	▲51.2	18.6
病院	5,622	2,091	7,713	34.7%	5,363	1,201	6,563	1,150	17.5	7.9
下水道	7,876	3,109	10,985	49.4%	7,476	3,235	10,711	274	2.6	▲2.4
観光施設	0	78	78	0.3%	0	102	102	▲24	▲23.6	16.6
港湾整備	0	0	0	0.0%	0	6	6	▲6	▲100.0	
市場	144	20	163	0.7%	100	20	120	43	35.8	※上記以外全て
と畜場	0	223	223	1.0%	0	5	5	218	4,043.1	
宅地造成	0	971	971	4.4%	0	700	700	271	38.7	2.5
駐車場整備	1	19	20	0.1%	1	19	20	0	2.0	
介護サービス	0	242	242	1.1%	0	214	214	28	13.0	
合計	14,790	7,447	22,237	100%	14,021	6,430	20,451	1,786	8.7	

※率計算は千円単位

繰入金の事業別の状況

